

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

869

長寿祝品贈呈事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	9	将来に向かって希望の持てる福祉社会の形成
施策	2	高齢者の生活の充実
取組方針	2	高齢者が心身ともに健康な生活を送ることができるまちづくり

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		民生費	
	項		社会福祉費	
	目		老人福祉費	
	大事業		老人福祉事業	
	中事業		長寿祝品贈呈事業	

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	平成20年度	～	無し	
事業実施の根拠法令			関連課	
			担当課・担当課長・Tel	高齢者・地域福祉課 畠山 秀人 435-1063

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	敬老の意を表し、福祉の増進を図る。		高齢の市民に対し、長寿祝品を贈呈することにより、敬老の意を表し、併せて福祉の増進を図ることを目的とする。			
事業内容		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
		毎年9月1日において、本市の住民基本台帳に記載されている者で、翌年の3月31日において満100歳である者に対し贈呈した。	毎年9月1日において、本市の住民基本台帳に記載されている者で、翌年の3月31日において満100歳である者に対し贈呈した。	毎年9月1日において、本市の住民基本台帳に記載されている者で、翌年の3月31日において満100歳である者に対し贈呈した。	毎年9月1日において、本市の住民基本台帳に記載されている者で、翌年の3月31日において満100歳である者に対し、祝品を贈呈する。	毎年9月1日において、本市の住民基本台帳に記載されている者で、翌年の3月31日において満100歳である者に対し、祝品を贈呈する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,008	822	847	696	772	573	551	0	551	0
伸び率(%)	△4.5%	3.5%	△16%	△15.3%	△8.9%	△17.7%	△28.6%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	718	718	720	800	645	645	645	0	645
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	718	718	720	800	645	645	645	0	645
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	1,008	822	847	696	772	573	551	0	551	0
所要人数(人)	正規職員	0.09	0.09	0.09	0.10	0.08	0.08	0.08	0.00	0.08
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	消耗品費 772千円									

3 目標及び実績

活動指標	支給者数	指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	支給者数	人	目標値	111	98	121	121	121
			実績値	109	95	103		
			達成度(%)	98.2%	96.9%	81.5%	%	%
成果指標	支給者数	人	目標値	111	98	121	121	121
			実績値	109	95	103		
			達成度(%)	98.2%	96.9%	85.1%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	100歳を迎えられる方に記念品を贈り、多年に渡り社会を支えてこられた高齢者への敬意を表することで、福祉の増進を図ることに繋がっている。
見直し・改善内容	特に改善を必要としない。